

## 評価結果概要表

作成日 平成21年 4月29日

事業所番号	2770801195	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	株式会社 オーナーズ	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	グループホームジョイフルしらさぎ	評価調査日	平成 21 年 4 月 24 日
所在地	大阪市東住吉区今川六丁目2番23号 電話 06-6760-7588	評価確定日	平成 21 年 5 月 4 日

【情報提供票より】(平成21年4月5日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成16年4月1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数 18人
職員数	17 常勤 14人 非常勤 3人 常勤換算 6, 9人

## (2) 建物概要

建物の構造	単独 鉄筋造り 5階建ての(1階~2階部分)
-------	---------------------------

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	4万2千円から	その他の経費 月額	3万5千円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有 5年 200,000円 償却 5年間		
食材料費	朝食	350円	昼食 400円
	夕食	530円	おやつ 150円
	または1日当たり	1,330円	

## (4) 利用者の概要(3月31日現在)

利用者人数	18名	男性	0名	女性	18名
要介護1	3名	要介護2	8名		
要介護3	4名	要介護4	2名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢 平均	83才	最低	64才	最高	98才

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	福寿会平野診療所 かねむら歯科・東住吉森本病院・吉田歯科
---------	---------------------------------

## 【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

広々とした共用室では利用者同士が仲良く話し合い、和やかな雰囲気である。運営者の職員への細かい配慮が、職員一人ひとりの意欲を盛り上げ、チームワークで理念の実践が進められ、喜びを持って勤務を続ける原動力となっていることが伺える。職員は、日常勤務での利用者の見守りに努め、また、ヒヤリハットの提案に積極的に取り組みながら、ケアレベルの向上に努めている

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地元自治会を始め、地域の方々との交流は続けられ、利用者は天候の良い日には戸外の散歩で健康の保持に努めている。介護向上は全て職員のレベルアップにあるが、ホームの職員16名中、14名が3年以上の勤続者で、安定した看取り介護を進めている。又、職員には資格取得への研修意欲があり、運営者はこれを強くバックアップしている
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	毎月、定例として第一水曜日に全員の会議と研修を行っている。今回の外部評価に当たっては、管理者と計画作成者による原案を、職員間で現状と改善案について検討している。介護の向上については、利用者一人ひとりについて、カンファレンスで、記録を基にして、入所以来の原点から見直し、現状に適した必要な介護計画の作成をしている
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は定例的に開催している。内容は前回からのホームの日常生活の経過報告、及び情報交流と質疑が行われ、利用者のご家族代表の出席もあり、当日、提案された改善要望事項については、よく検討し、対応をしている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	ご家族へは毎月、瓦版等で利用者の様子をお伝えしている上、来訪された場合には詳細に亘って日常の生活を報告し、改善すべき点で急ぐ必要がある場合は管理者に報告し、直ちに実施している。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会には会員として加入しているので、回覧板も回って来ており、地域の情報や諸行事の案内もあり、近辺の話題として利用者には知らせている。又、緊急の際の応援体制については、現状説明と援助をお願いしている

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
<b>1 理念と共有</b>					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営理念として「普通に・ゆっくりに・一緒に・楽しく」を掲げている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、日々の介護について、理念の実践と捉えて取り組んでいる		
<b>2 地域との支えあい</b>					
	3	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	所在地付近は、事業所施設と住宅が混在している静かな地域である。当ホームの職員が、この地域に居住していることもあり、地域の方々との交流は徐々に進められている		
<b>3 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
	4	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者と計画作成者が原案を作成し、それを基に、職員と交互に話し合って作成している		
	5	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	2ヶ月ごとの開催を原則的に実施している、ご家族代表にも出席して頂いており、会議の内容は、職員とも話し合って実践している		
	6	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括支援センターや、ボランティアとの交流をして、介護向上に努めている		
<b>4 理念を実践するための体制</b>					
	7	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族の来訪時や、毎月の刊行物に、ホーム瓦版として写真入りで様子を掲載している。又、利用者の個別の様子については、適宜に説明、相談等をしている		
	8	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議を始め、ご家族から提案されたご意見等については、それぞれの職員が共有して、介護に反映させている		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		職員のチームワークが良くとれ、利用者は、落ち着いた日常生活を進めています

## 5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>		
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		東住吉区内の同業者間の交流も含め、その他の会合にも参加し、研修や情報交流が来ている

## II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

## 1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		利用者の情報については、機会あるごとに把握するよう努めている。又、常に、ご家族からも多くのことを聞き出すよう配慮している
--	----	----	--	--	--

## 2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		
--	----	----	---	--	--

## III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

## 1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	○	ヒヤリハットの報告はまたとない貴重なものです、改善に期限はありません、これからも全員で積極的に、提案を進めて欲しい
--	----	----	--	---	---

## 2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		看取りと、気付きの情報を基に、職員のカンファレンスを経て、介護計画作成としている。体調変化の際は、ご家族、医師、関係者との話し合いをしている
--	----	----	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	対応できないような変化があれば、ご家族、医師等関係者に連絡し、現状に即した計画変更をしている		
<b>3 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、ご家族の意向に従い、出来る範囲内で柔軟な支援をしている		
<b>4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	ご家族の同意に従って、医師、看護師及び歯科医師の往診を、月2～4回来て頂いている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	事前に本人、ご家族と重度化での対応の話し合いをしている。職員にも看取りについての研修、学習を実施している		
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1 その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	管理者が職員に対し、日頃から個人の尊厳と会話での言葉遣いについて指導している、又、個人情報管理についても配慮している		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームとしての時間の流れはあるが、本人の要望には配慮し、柔軟な対応をしている		
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者に、食事の前後にできることの手伝いを、積極的にして頂いている。食事の際の席順も配慮されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	○ 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している		入浴時間は出来る限り利用者の希望に沿っている、入浴しない方には足浴を行っている

## (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている		一人ひとりの好みによって自由に楽しみごとや、時間を過ごしていただいている。一例として、職員の配慮で、韓国ドラマのDVDを視聴して、楽しんでおられる
	25	61	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している		原則的に毎日、散歩に出かけている、年間行事として花見、外食、動物園、公園等の各種公共施設へのドライブも実施している

## (4) 安心と安全を支える支援

	26	66	○ 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる		現状では戸外に、出たがる方が居られるので、玄関は施錠している
	27	71	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている		消防員の指導による避難訓練を実施している。運営推進会議の席上でも、地域の方々に、ご支援ご協力の依頼をしている

	28	77	○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている		食材は老人向け献立で購入し、調理は職員で行っている。又、個人ごとの食事と水分の摂取量については、記録と調整をしている
--	----	----	--	--	--

## 2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

## (1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている		共用の居間はゆったりとした広さがあり、体を動かすゲームが可能である。周辺の壁面には季節の飾り、習字、写真、絵画等を掲示している
	30	83	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている		居心地よく暮らせるように、ご家族と相談して自由に家具、道具類を持ち込んでいる